

2020年9月2日

各 位

「JMS 舌圧測定器」の韓国での輸入許可を取得、販売開始

-口腔機能向上のノウハウを韓国に展開-

株式会社ジェイ・エム・エス（本社：広島県広島市、代表取締役社長：奥窪 宏章）は、「JMS 舌圧測定器」に関して、韓国食品医薬品安全庁(MFDS)の輸入許可を2020年7月27日に取得し、販売を開始しました。

当社は、健康寿命の延伸を目指して、いつまでもおいしく安全な食生活を送ることをサポートする、摂食嚥下（せつしょくえんげ）関連製品を提供しています。「JMS 舌圧測定器」は、食べ物を飲み込むために必要な舌の力“舌圧（ぜつあつ）”を測定することができる、日本で唯一の医療機器です。高齢などにより飲み込む機能が低下すると誤嚥^{ごえん}性肺炎のリスクが高まるだけでなく、低栄養につながるため、口腔機能を維持することは高齢化社会を支えるためのフレイル^{*}予防として世界でも注目されています。

※フレイル：加齢により心身の活力が低下した状態。要介護状態に至る前段階に位置づけられています。



JMS 舌圧測定器



舌圧トレーニング用具「ペコぱんだ」

当社は、既に韓国国内で舌トレーニング用具「ペコぱんだ」を販売展開しており、今後、「JMS 舌圧測定器」を加える事で、韓国における摂食嚥下事業の更なる拡大を目指します。

また、本年策定した「中期経営計画 GAIN-RG2023」においても、日本国内で培ったコア事業の海外展開を掲げており、この度の韓国市場のほか、今後は欧州市場や北米市場への展開も視野に入れ、世界の人々の健康でより豊かな生活に貢献するよう努めてまいります。

以上